新潟県報道資料

新潟県

令和７年 12 月２日
環境局環境対策課

高病原性鳥インフルエンザウイルス（県内野鳥１、２例目）の検出により実施した調査の結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした

環境省が遺伝子検査を実施し、高病原性鳥インフルエンザウイルス（Ｈ５亜型）が検出されたコハクチョウ※1及びハクチョウ類※2について、野鳥監視重点区域内（回収地点の半径 10㎞圏内）の調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

※１　県内野鳥１例目　環境省が 11 月 12 日に回収し、14 日の遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザが検出（14 日報道発表済み）
※２　県内野鳥２例目　環境省が 11 月 14 日に回収し、17 日の遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザが検出（18 日報道発表済み）

１　調査日

令和７年 11 月 15 日（土）（１例目のみ）、20 日（木）、29 日（土）

２　調査結果

野鳥監視重点区域内にある渡り鳥の飛来地等である、新潟市を中心とする各区域内 10 箇所において、野鳥の生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施した結果、野鳥の大量死等の異常は確認されませんでした。

３　今後の対応

引き続き、野鳥監視強化及び関係機関との情報共有などの対応を継続します。

本件についてのお問い合わせ先
環境局環境対策課自然共生室　川口
電話（直通）：０２５－２８０－５６９１（内 2691）